

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

(7月4日(金) 15時30分～16時50分 於 本校校長室)

出席者：学校運営協議会委員 有本昌剛 辰巳千佳子 田中祐衣 眞鍋亘

本校より校長 教頭 事務長 赤堀首席

欠席者：山内太一 吉澤首席

◆議事

1. 校長挨拶

・着任紹介

2. 学校運営協議委員紹介、事務局紹介、実施要項等確認、会長選出

・学校運営協議委員、事務局自己紹介

・会長、副会長選出

会長：森勇太 様 副会長：有本昌剛 様 拍手により承認

3. 学校経営目標と現状報告 司会：森先生

〈校長〉

○令和7年度学校経営計画及び学校評価から重点目標の説明・確認 A3版3枚

- 1 確かな学力 探究についての説明(来年度から個人探究へ移行)、
国際教育関係(短期・長期留学生、夏期語学研修、台湾修学旅行)
ICT(体育等の実技習得で活用、
英語科ではジェルピー、Base-in-Osaka 活用)
遠隔授業の整備、日本語指導が必要な生徒の増加及び体制整備
- 2 豊かな感性 自主自律(生徒会選挙に複数立候補や体育祭)
安全に関する教育(自然災害への意識向上、避難訓練)
健康教育
- 3 学校の特色 校務効率化(掲示板の活用、会議ペーパーレス、レジュメの工夫)
NEXT10(ずれ勤活用などの働き方改革)
広報(インスタグラム等のSNS活用)

4. 各分掌の取り組み

資料のみ提供

5. 協議

<森委員より>

Q.) 「日本語指導が必要な生徒」に対して具体的にどのような取り組みをしているのか。

(1-オ)

A.) すべての教科ではないが抽出で授業を実施し、原学級への合流をめざす。考査等においては、ルビうち等の対応。

保護者懇談時には通訳を手配することを行っている。

・旭陽中学では、日本語指導の拠点校となっている。さまざまなルーツの生徒がいる。

<眞鍋委員より>

・進学するにあたり、ICT化のリテラシーを挙げておく必要があると感じる。

・アプリの選択肢が多いことはいいことだと思う(森委員)

Q) 金融教育(投資等)を高校で行っているのか。

A) 家庭科、社会科等の教科の中で学ぶ機会がある。(赤堀首席)

校長：情報リテラシーは数年前より上がっている。金融については今後か。

<辰巳委員より>

・中学でもICT活用進む(使い慣れた生徒が入学しつつあり、滑らかに)
生成AIの活用も。

日本語指導等抱える課題が似ている JSL活用

<田中委員より>

外国籍生徒の増加に驚き

公式インスタ賛成、広報にプラス

<森委員より>

Q) 公式インスタグラムはどのような運用を考えているのか。

A) 日々の学校の様子を発信予定(赤堀首席)

＜青竹校長より＞

Q) 令和10年度入試改革について【資料あり】ご意見をいただきたい。

- ・現中1生から対象
- ・特色枠の導入
- ・第2志望の導入
- ・英語の読み替え率の変更(厳格化)

A) 各委員よりの意見

中学校も具体的な内容を把握していない。

特色枠を打ち出すためにアドミッションポリシーをより具体的な生徒像をイメージさせるような内容にするとよいのでは。

大学ではAO入試枠をイメージするが、難しい。

働き方改革に逆行すると思う。

入口だけのことなく、カリキュラムもしっかり検討する必要があると思う。

6. 校長謝辞

7. 諸連絡（事務局）

次回予定

- ・11月28日(金)15:30～を予定
- ・10月ごろに案内予定